

# 3 地域のニーズ

---

- 3-1 WEB調査
- 3-2 ワークショップ
- 3-3 事業者インタビュー
- 3-4 その他

## 3-1 WEB調査

### (1) 調査の概要

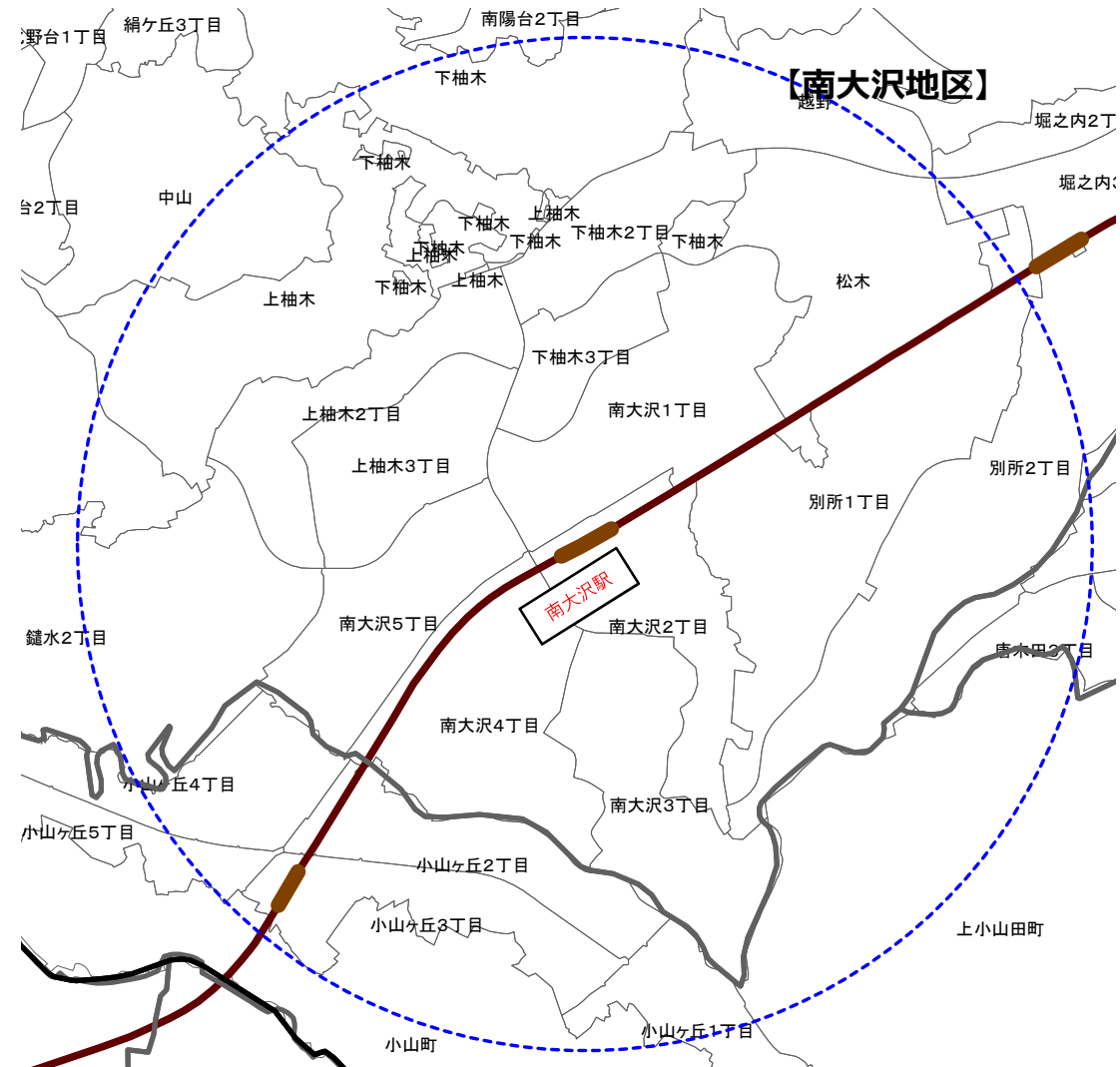
方式：インターネットモニターWEB調査

実施：2020年12月中旬

回収：1,035サンプル

備考：居住者 245サンプル  
最寄駅を南大沢駅と回答、かつ住所が南大沢駅から概ね2 km圏内

来街者 790サンプル  
南大沢駅周辺への立寄り経験あり

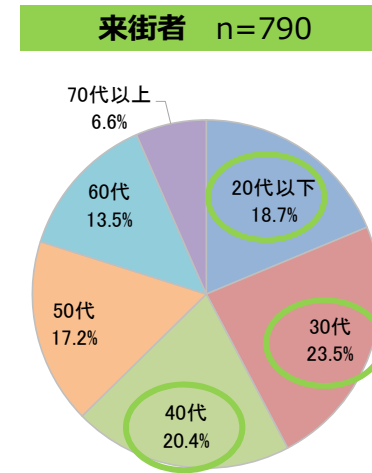
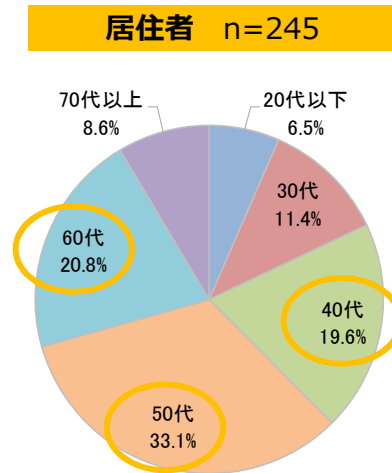


## (2) 調査結果

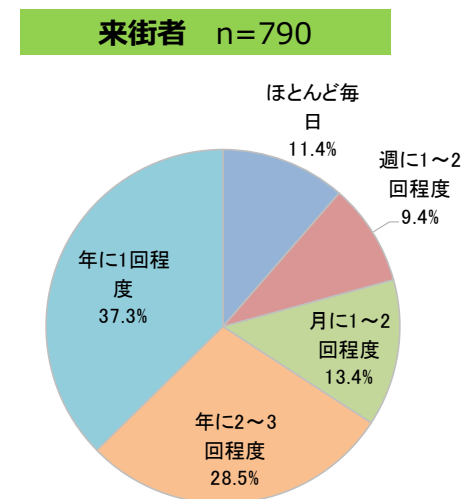
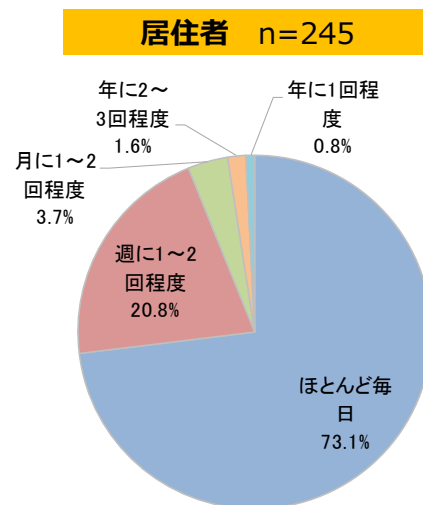
### ① 年齢、来訪頻度

- 年代別では、居住者は40から60歳代まで、来街者は20歳代以下から40歳代までが多くなっている。
- 訪問頻度は居住者はほとんど毎日が7割程度、来街者は年に数回程度で6割程度となっている。

#### ○回答者 年齢



#### ○訪問頻度

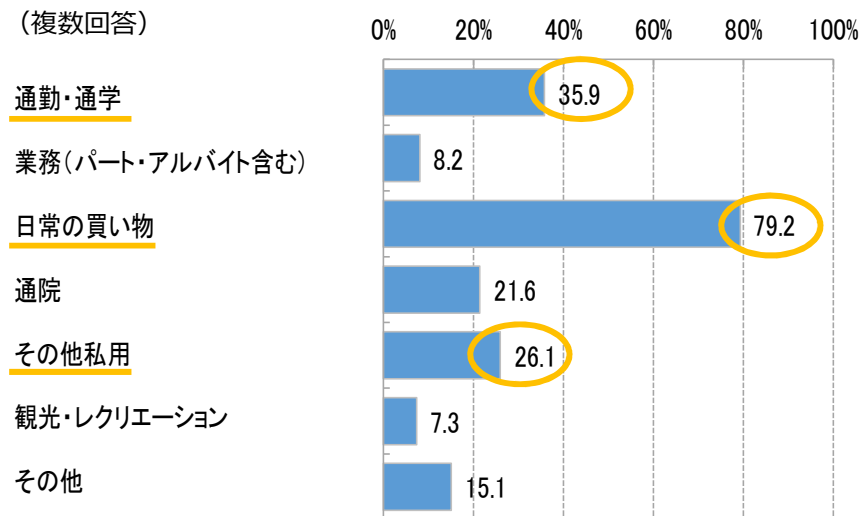


## ② 購入プロセス(訪問目的)

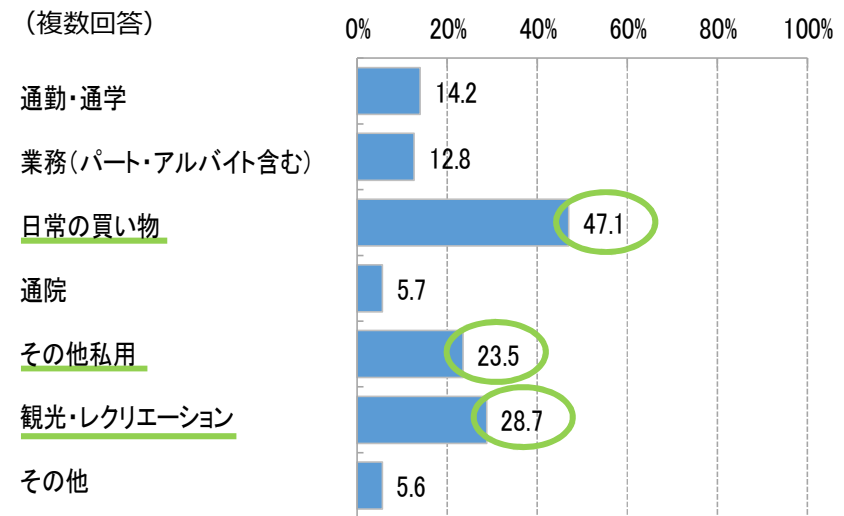
- 南大沢地区に訪問する目的として、居住者・来街者共に大半が日常の買い物を理由としている。

### 南大沢地区への訪問目的

居住者 n=245



来街者 n=790



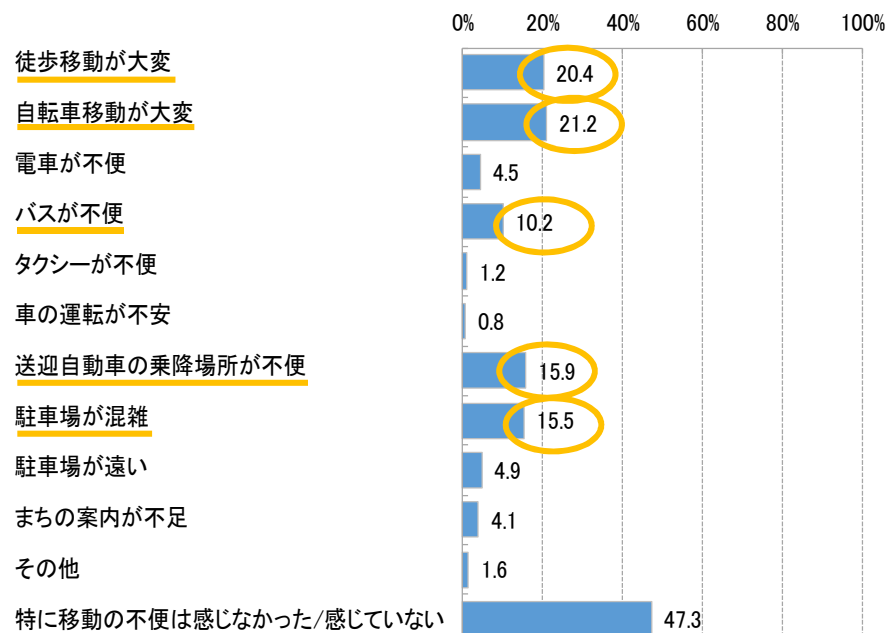
- ✓ 南大沢地区への訪問目的では、**居住者は日常の買い物目的が約8割**、次いで通勤・通学やその他私用となっており、**来街者は日常の買物が5割程度**、次いで観光・レクリエーションとなっている。

### ③ 移動手段及び移動プロセス

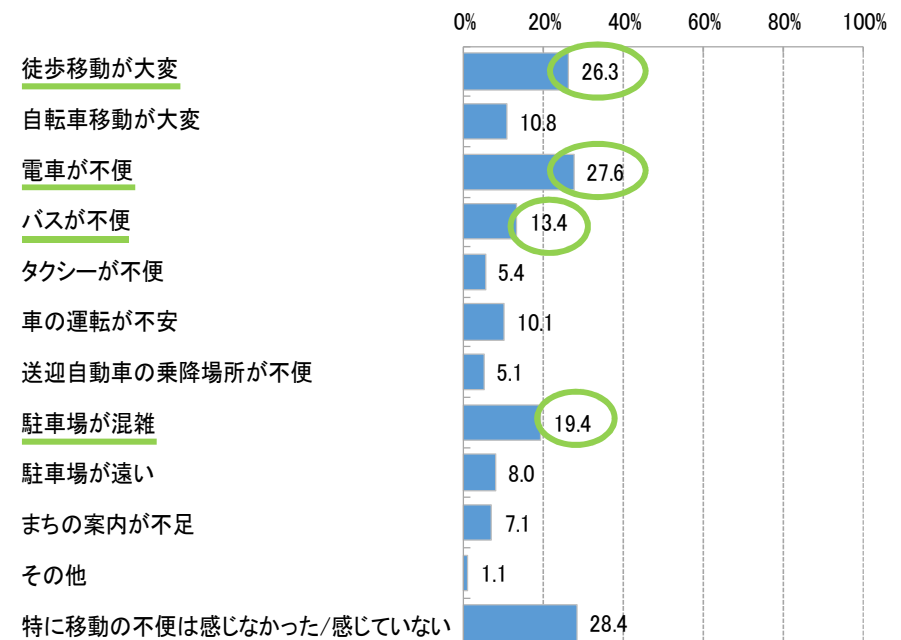
- 居住者は自転車、徒歩、バスの移動と、乗降場所、駐車場の混雑について大変や不便との意見が多い。
- 来街者は電車、徒歩、バスの移動及び駐車場の混雑に関する意見が多い。

#### 移動における課題（複数回答）

居住者 n=245



来街者 n=790



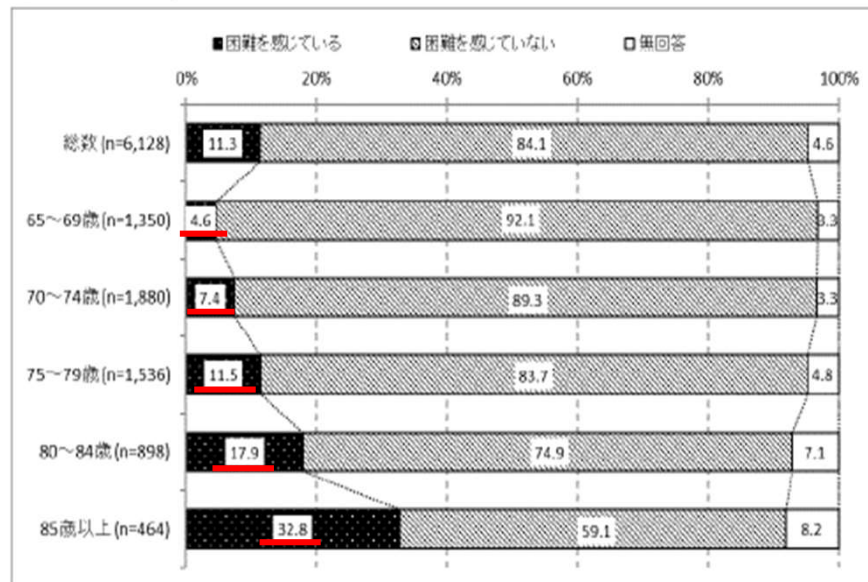
## <参考> 高齢者の移動負担感

- ・ 市内在住の65歳以上を対象としたアンケートでは、移動に困難を感じている層は11.3%で、年代が高いほど割合が高まり、歩くこと自体や、階段や坂道の上下りを困難と感じている。

★「あなたは日常的な移動（買い物や通院等）に困難を感じていますか。」

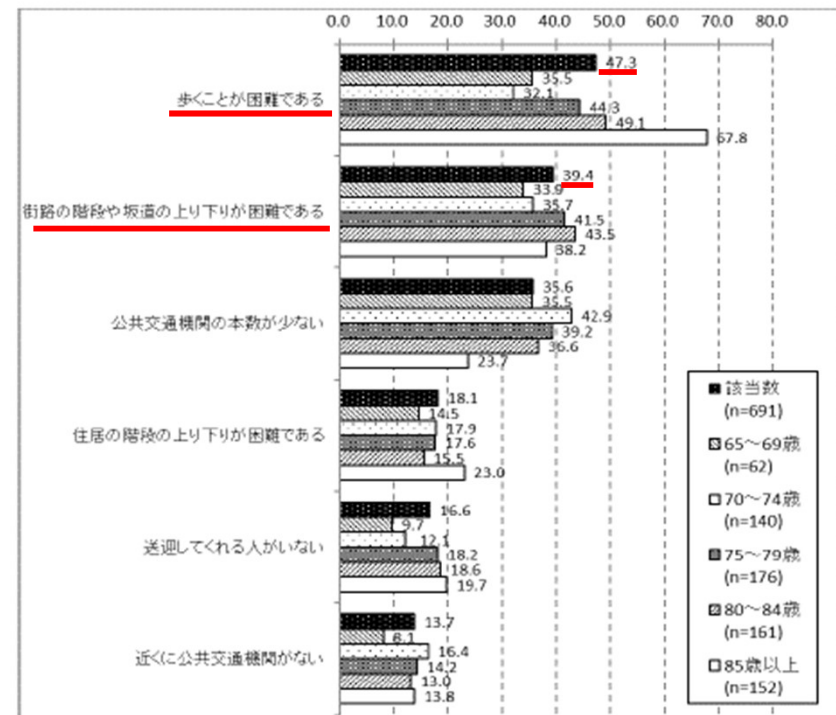
- ・ 「困難を感じている」  
… 11.3%（総数）

年齢別にみると、「困難を感じている」は年齢が高いほど、「困難を感じていない」は年齢が低いほど高くなっている。



★「どのような理由で困難を感じていますか。」

- ・ 歩くことが困難である  
… 47.3%
- ・ 街路の階段や坂道の上下りが困難  
… 39.4%

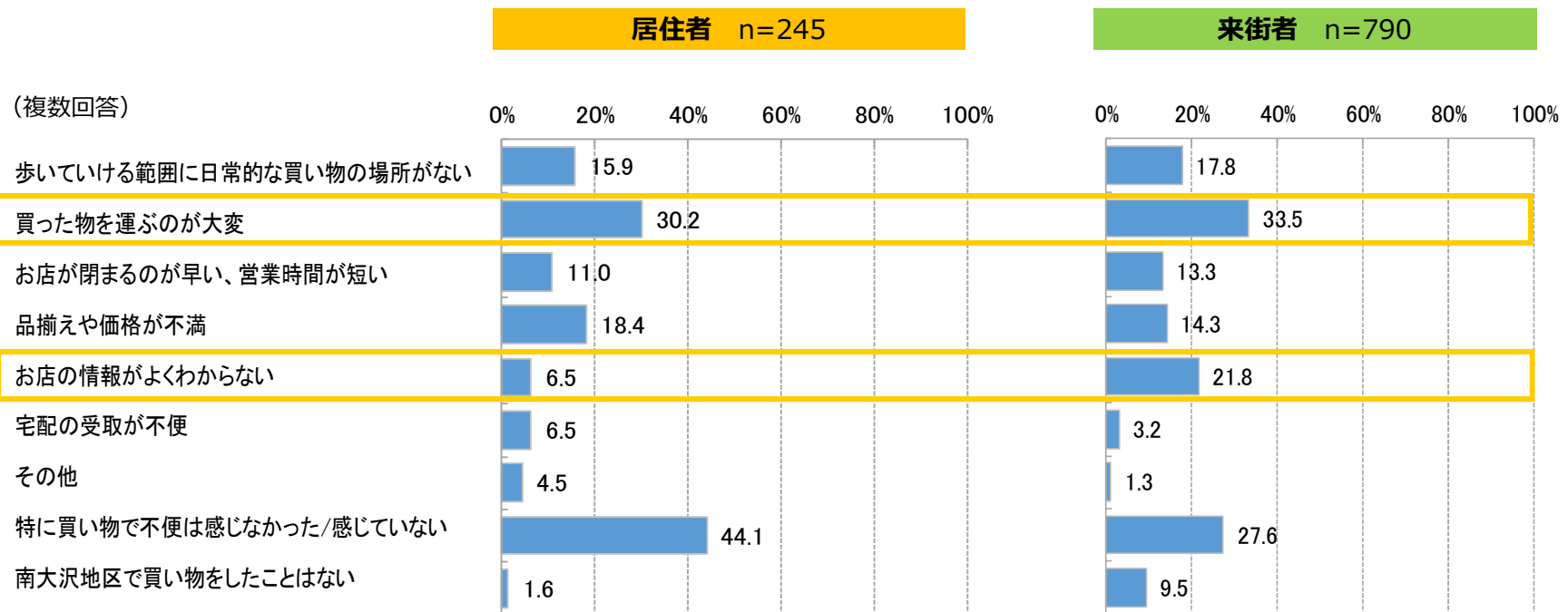


出典) 八王子市「健康と暮らしの調査2019」(2019)

## ④ 買い物時の課題

- 居住者・来街者共に、買い物利用者の荷物を持つてのエリア内移動に負担感がある。
- 特に来街者から、南大沢のまちや店舗に関する情報提供へのニーズがある。

## 買い物にあたって感じる不便

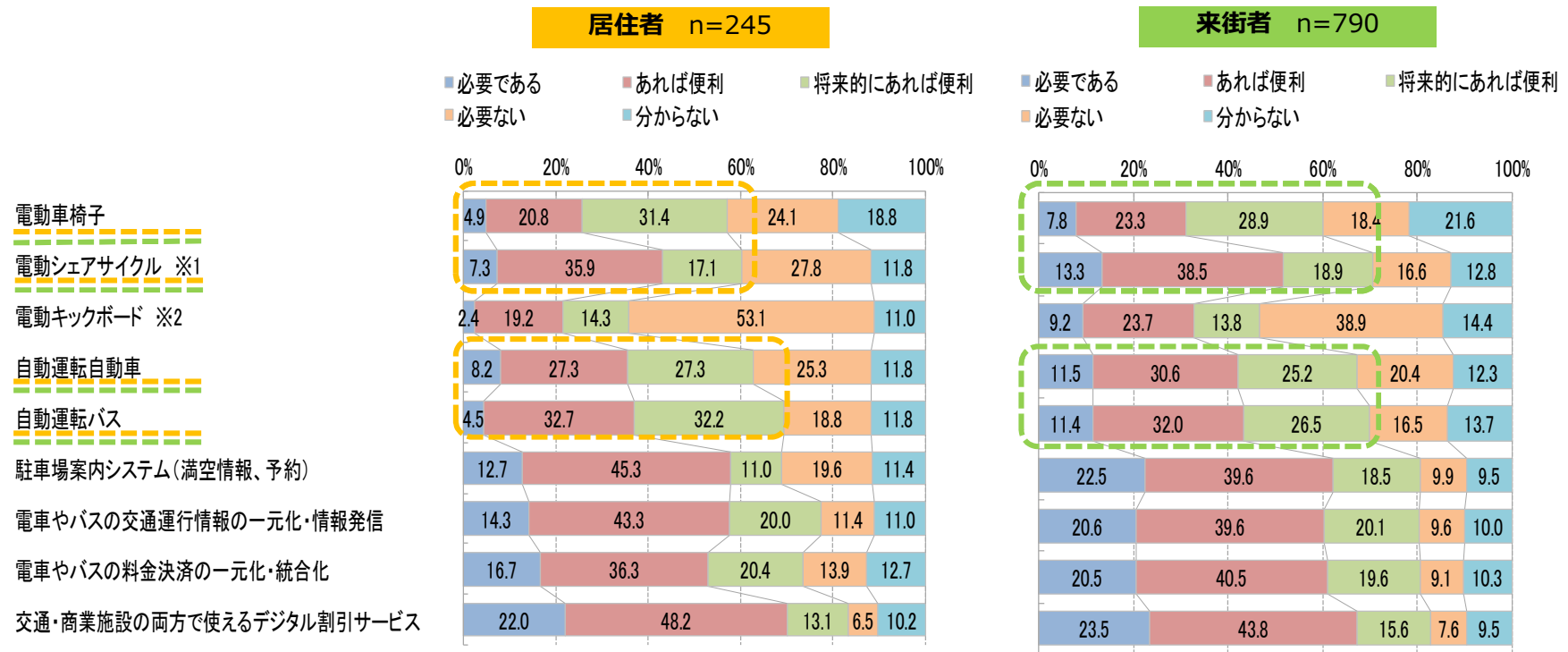


- ✓ 買い物にあたって感じる不便として、**居住者の30.2%、来街者の33.5%が買ったものを運ぶのが大変**と回答
- ✓ 居住者の6.5%、**来街者の21.8%が南大沢エリアのお店の情報がよくわからない**と感じている

## ⑤ 期待する交通サービス

- アンケート調査では、居住者・来街者の両方において自動運転やラストワンマイル解消の為にモビリティサービスへの関心の高さが見受けられた。

あったらよいと思う交通サービスや乗り物（複数回答）



※1 電動自転車のレンタサイクルサービス

※2 モーターを内蔵し走る自走式の二輪の乗り物

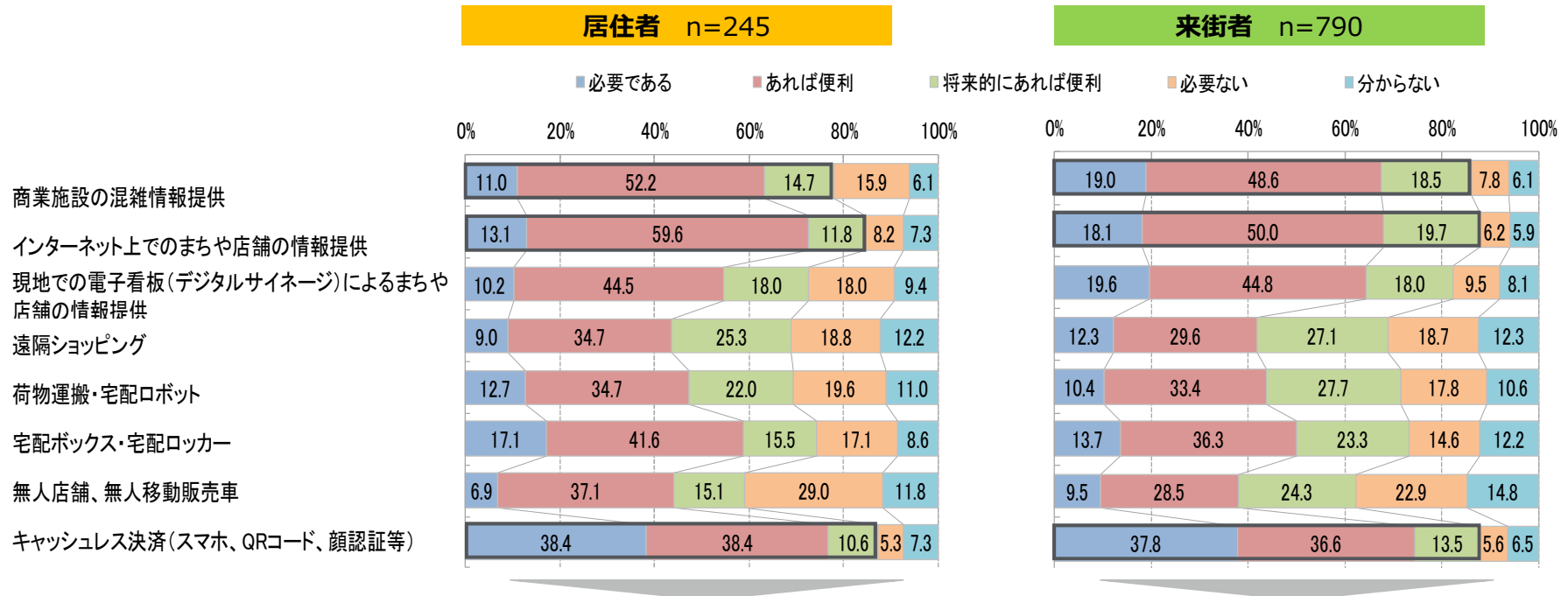
居住者と来街者の60%前後が電動車椅子/シェアサイクル、自動運転自動車/バスを必要またはあれば便利であると回答



## ⑥ 期待する買い物サービス

- 買い物に関してあったらよいと思う先端技術やサービスとして、居住者・来街者の両方がキャッシュレス決済を最もニーズの高いサービスと回答している。

### 買い物に関してあったらよいと思う先端技術やサービス



- ✓ ニーズあり（必要である/あれば便利/将来的にあれば便利）回答上位3位
  - **キャッシュレス決済（87.4%）**
  - まちや店舗のWEB情報提供（84.5%）
  - 商業施設の混雑情報提供（78%）

- ✓ ニーズあり（必要である/あれば便利/将来的にあれば便利）回答上位3位
  - **キャッシュレス決済（87.9%）**
  - まちや店舗のWEB情報提供（87.9%）
  - 商業施設の混雑情報提供（86.1%）

## 3-2 ワークショップ

### (1) 概要

- 今後の社会実装を見据え、南大沢と接点を持つ人を対象に、ワークショップを実施した。

	日程	対象者	参加人数（人）	実施形式	実施目的・議論内容
第1回	2021年 8月28日（土）	学生 勤務者	12	オンライン	<u>南大沢の課題やニーズを明確化・深掘り</u> ✓ 活用シーンの確認 ✓ 課題・ニーズに関する議論
	2021年 11月6日（日）	シニア	17	対面	
第2回	2022年 2月1日（火）	学生 勤務者 シニア	12	オフライン	<u>課題解決に資する施策の社会実装に向けた論点を明確化</u> ✓ 実証実験
第3回	2022年 3月4日（金）	学生 勤務者 シニア	17	オンライン	<u>施策を踏まえた長期的な姿やそれに向けて取り組むべき事項を明確化</u> ✓ 南大沢スマートシティとしての将来求める体験 ✓ スマートシティの施策案

## (2) 結果

### ① 交通(モビリティ)関連

	現況	課題・ニーズ
勤務者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 車道や駐車場が整備されており、住民であれば簡単な買い物でも車で移動することが多い。</li> <li>■ バス利用者は高齢者がほとんどである。</li> <li>■ イベントがあっても移動手段がなければ人は集まり辛いと思うので、移動手段の拡充はまちの活性化に繋がると思う。</li> </ul>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ バス停まで高低差があり、特に高齢者にとって、バス停に行くまでも大変である。</li> <li>■ バス案内情報が不十分で、乗るべきバスが分からない。</li> <li>■ 既存交通網は駅基点に広がるため、駅を介さない横移動がしづらい。</li> </ul> <p>&lt;ニーズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢者にとってシェアサイクルは安全性のリスクがあり、車いすでは仰々しく、使い辛いため中間があれば良い。</li> <li>■ バス検索が難しいため、ひとまとめで検索できると良い。</li> <li>■ 高低差がある他訪問先では、電動シェアサイクルを頻繁に使っており、南大沢にあれば是非使いたい（電動であることは必須）。</li> </ul>
学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅前で買い物や食事などの活動が完結できる。</li> <li>■ バス検索をあまりしたことがなく、住民以外はあまりバスを使わないのではないか。</li> </ul>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ バスが小回りに運用されておらず、行きたいところに行き辛い。</li> <li>■ 地元住民以外バスを利用していないと想定する。</li> <li>■ カーシェアのステーションが近くになく、車を借りにくい。</li> </ul> <p>&lt;ニーズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ シェアサイクルや電動キックボードシェアリング、バスが大学内の移動で使えると良い。</li> <li>■ 高低差があり移動が辛い、歩道環境の整備や電動シェアサイクルの導入が求められる。</li> <li>■ バスの初乗り料金が安くなり、巡回バスがあると良い。</li> </ul>
シニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駐車場が少なく、駐車場から施設までに距離がある。</li> <li>■ 横移動のバス路線が少ない。</li> <li>■ 坂道が多く、歩き辛い。</li> </ul>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 巡回交通が不足している。</li> <li>■ 乗り換えが不便なところがある。</li> </ul> <p>&lt;ニーズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南大沢は遊歩道が各団地を繋ぐので、遊歩道を走る小型モビリティがあると便利だろう（例：セグウェイ用道路、小型トレイン）。</li> <li>■ 分かりやすい道案内のツールがあると良い。</li> <li>■ 小型で小回りの利く、途中下車可能な巡回バスが高頻度で走ると良い。</li> <li>■ 高齢者の移動補助として、歩道が整備されている地域での電動車いす活用が望ましい。</li> </ul>

## ② まちの賑わい関連

	現況	課題・ニーズ
勤務者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 歩道と車道が完全に分かれる形で整備されており、歩き易く、運転し易い。</li> <li>■ 野猿街道沿いなど賑わうポテンシャルはある。</li> <li>■ 土日のアウトレットは混んでいるので、平日の仕事帰りに寄ることが多い。</li> </ul>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アウトレット以外に南大沢の認知度が低い。</li> <li>■ 駅周辺の情報が少なく、どこが魅力的な場所が分からない。</li> <li>■ 駅前以外で食事をする場所がない。</li> <li>■ 駅前以外に行くには、坂があり、気軽に行き辛い。</li> </ul> <p>&lt;ニーズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 回遊ルートが紹介され、そこにおすすめスポットや休憩場所があるとよい。</li> </ul>
学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅前の喫茶店によく行く。</li> <li>■ 授業の空き時間にアウトレットを良く訪れる。</li> <li>■ 公園の桜や星空など、シーズン別の楽しみがある。</li> </ul>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高低差により自転車使用を諦めている人が多い。</li> <li>■ 駅前に機能が集約してあるため、駅前以外を利用しない。</li> <li>■ 公園まで11km以上の距離があり徒歩での移動は辛い。</li> <li>■ 学内の交流が限定的である。</li> </ul> <p>&lt;ニーズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公園に行きやすい小さなモビリティがあれば地域を回遊でき良い。</li> <li>■ 南大沢は自然が多いことが魅力であり、案内・地図があれば行きたいと思う（長池公園、富士見台公園等）。</li> <li>■ 南大沢に宿泊施設があると、家族連れがレクリエーションをしやすいのではないか。</li> </ul>
シニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅前で買い物や食事をする。</li> <li>■ 公園や学校でボランティアに従事している。</li> </ul>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人が滞留できる店が少ない。</li> <li>■ 駅前イベントと地元のイベントが連携できていない。</li> <li>■ 駐車場の利用が不便である。 (駅前駐車場が混雑する、駐車場から目的地まで距離がある)</li> <li>■ Wi-Fi環境のある落ち着いた雰囲気のある場所がなく、打ち合わせが出来ない。</li> </ul> <p>&lt;ニーズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Wi-Fi環境や落ち着いた雰囲気が整備されたカフェがあると良い。</li> </ul>

## ③ 実証実験

	実証実験施策の良かった点	実証実験施策の課題	実証実験施策の改善案	スマートシティの施策案について 特にあるとうれしい施策・理由
まちの賑わい	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スタンプラリー           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 近隣住民、遠方からの来街者双方の参加を実感した。</li> <li>➢ 参加者が南大沢の各エリアを周遊している実感があつた。</li> <li>➢ 南大沢の複数スポットを訪れることができた。</li> <li>➢ スポットに初めて来訪する人や施策参加とあわせて施設が発信する情報を求める人がいた。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スタンプラリー           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ QRコードの読み取りの仕組・設置場所が分かりづらい。</li> <li>➢ スタンプラリースポットが南大沢に点在しており、設置場所間の繋がりが希薄である。</li> <li>➢ 高齢の方は、スマホの操作に慣れておらず、参加にはハードルがある。</li> <li>➢ 1スポットにつき1回しかスタンプを獲得できず、リピーターが生まれない。</li> </ul> </li> <li>■ PR           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 南大沢全体や公共交通、施設内でのPRが不足していた。</li> </ul> </li> <li>■ シェアサイクル           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 住民は自動車や自転車を既に保有、利用タイミングがない。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スタンプラリー           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 周遊だけでなく、施設での体験や健康行動と組み合わせることでスタンプを獲得可能な仕組み。</li> <li>➢ 自動車の利用者向けに、環境に配慮した移動手段の利用に応じてスタンプを獲得可能な仕組み。</li> <li>➢ 1つのスポットで複数回の利用を促す仕組み。</li> <li>➢ 写真映えするスポットや温泉施設、公共施設（図書館や市民センター）、大型商業施設（Costco、ぐりーんうおーく）、神社等へのスタンプ設置箇所の拡大。</li> </ul> </li> </ul>	(意見なし)
モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ シェアサイクル           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ これまで訪れたことのない場所へ訪れるきっかけとなった。</li> <li>➢ バス移動では時間・移動範囲の制約がある一方、シェアサイクルは制約がなく、効率的な移動が可能である。</li> <li>➢ 返却場所が自由に選択できるため行制限が少ない。</li> <li>➢ シェアサイクルは、購入する場合と比べて、費用が安く、メンテナンスも不要である。</li> <li>➢ 移動先によっては、バス料金より費用が安い。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ シェアサイクル           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ シェアサイクルの台数・ポートの設置数が少ない。</li> <li>➢ 30分前までしか予約できず、自転車に空きがない場合は予定変更を余儀なくされる等の予約・返却時に制約が生じる。</li> <li>➢ 利用時に自転車の充電がない。</li> <li>➢ 初回利用時は会員登録が必要であり、利用にハードルがある。</li> </ul> </li> <li>■ PR           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ポスターから、サービスのイメージやポートの設置場所が伝わりづらい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ シェアサイクル           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 初回利用時は現金支払いを可能とする等の利用のハードルを下げる仕組み。</li> <li>➢ 月額利用料金やサブスクリプション等の仕組み。</li> <li>➢ 子供連れ用や長距離移動用の自転車。</li> <li>➢ 利用時のモチベーション、利用する事でのメリット（駐輪場が近い等）を提供できる場所へのポート設置。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電動キックボード・セグウェイ           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 移動に限らずアクティビティして提供可能である。</li> </ul> </li> <li>■ 自動運転バス           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ バスの本数が少ないため。</li> </ul> </li> <li>■ デマンドバス、ライドシェア           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ニュータウン地域では小回りの利く交通手段は成立しやすい。</li> </ul> </li> <li>■ 追従自動運搬車           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 歩行者移動や荷物配送を補完する手段としてあるとよい。</li> </ul> </li> <li>■ 自動車いす           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 高齢化の中で、歩行者専用道の整備も充実している。</li> </ul> </li> </ul>

### コンセプトに関連する活動の楽しさ・課題や向上・改善するために望ましい体験

- **自然×都市**
  - ▶ 日常的に歩くことを心掛けている。
    - ・歩くことの動機付けや情報交換があると良い。
  - ▶ 公園の利用を都立大学と連携して促進している。
    - ・継続的なイベントの実施に向けて規制を緩和し、“稼ぐ公園”を目指すことが望ましい。
- **既存ストック×新サービス**
  - ▶ 高齢者団体や町会長と交流している。
    - ・駅前周辺に住民が交流できる場所があると良い。
  - ▶ 賃貸住宅の管理・計画を通じて住民のコミュニティ形成に取り組んでいる。
    - ・デジタルを活用した情報発信が望ましい。
    - ・駅前と住宅地が連携したイベント開催が望ましい。
  - ▶ ペDESTリアンデッキでイベントを開催している。
    - ・イベント開催によって一時的な収益は得られるものの、継続性の観点からは課題がある。
- **産×学×公×民**
  - ▶ 地域包括センターと連携して取組を推進している。
    - ・コロナ渦では、デジタルを活用した交流が望ましい。
    - ・丘陵地の移動を容易にする交通手段があると良い。
    - ・学生が卒業後に南大沢から転出する。
  - ▶ 施設と連携し、ボランティアを紹介している。
    - ・デジタル機器の操作に不慣れな高齢者でも容易に操作可能な先端技術が望ましい。
  - ▶ 町会で若い人との交流、HPや公式LINEでの情報発信に取り組んでいる。
    - ・学生が町会に入り、自由に取組める環境が望ましい。

### スマートシティの将来像への意見

- まちの資源を活用し、老若男女官民協働でスマートシティを目指すことが望ましい。
- 住民や学生・留学生、住民組織等の世代を超えた交流が望ましい。
- 新しいニュータウンを明確化・簡潔に表現すると良い。
- 課題に対して先端技術をどう活用するのかを踏まえて将来像を定めると良い。
- スマートシティに不慣れな住民にとっては、今の文言は分かりづらい。
- 先端技術の活用には人が介在する必要があり、誰一人取り残さない先端技術の活用が望ましい。

### スマートシティの施策案について特にあると嬉しい施策とその理由

- **まちの賑わい**
  - ▶ デジタルサイネージ（既存掲示板は更新が大変である）
  - ▶ 多様な決済手段（複数決済手段が使えると便利である）
  - ▶ XR活用（実際にその場にいる実感が得られると良い）
  - ▶ 空き屋活用（学生に地域を活用してもらおうきっかけとする）
  - ▶ 地域コミュニティサイト・スペース（南大沢の情報を集約したサイトが不足している。）
  - ▶ デジタルマップ（地域情報や高齢者・障がい者の外出を促すような情報発信が望ましい。）
  - ▶ 駐車場案内サービス（住民・来街者向けにデジタルで情報発信できると良い。）
  - ▶ 宅配ロッカー/ボックス（自治体の集会所等に設置することで利用を促進できると考える。）
  - ▶ 無人宅配ロボット（日々の買い物支援があると良い。）
  - ▶ 地域ポイント・デジタルスタンプラリー（簡易で継続性が高い取組ができるとよい。）
- **モビリティ**
  - ▶ 超小型モビリティ/グリーンスローモビリティ（高齢者や子育て世代が多く、バス本数が少ないため小型モビリティがあると良い。）
  - ▶ 電動キックボードシェアリング（丘陵地かつ学生が多いため、ニーズがあると考えられる。）
  - ▶ EVカーシェアリング（乗り捨てが可能であると便利である。）
  - ▶ MaaS（公園情報をMaaSアプリを通じて発信できると良い。）
- **その他**
  - ▶ 高齢者向けのアナログな情報発信等、先端技術を活用する際は、誰一人取り残さないようなフォローが必要である。



## 3-3 事業者インタビュー

### (1) 概要

- テーマごとに今後の社会実装を見据え、南大沢において事業を展開するプレーヤーに対して、インタビューを実施した。

		時期	対象	実施形式	インタビュー内容
モビリティ		2021/9	バス事業者	オンライン	✓ 現状の取組・ニーズ・課題 ✓ 課題への対応 ✓ 今後の展望 ✓ 先端技術の活用 ✓ まちづくりへの期待、協議会への要望・協力
		2021/9	物流事業者	オンライン	
まちの賑わい		2021/10	商工団体	対面	
情報		2021/12	情報サービス事業者	オンライン	
その他	自然環境・エネルギー	2021/9	NPO法人	オンライン	
		2021/9	エネルギー事業者	オンライン	
	教育	2021/9	近隣教育機関	オンライン	
	医療・福祉	2021/9	医療法人	オンライン/対面	
	防災	2021/9	市防災担当	オンライン	

## (2) 結果

### ① モビリティ・物流

- 事業者へのインタビュー内容を基に、課題・ニーズ、先進技術による解決の方向性を整理した。

		バス事業者		物流事業者		
		課題・ニーズ	先進技術による解決の方向性	課題・ニーズ	先進技術による解決の方向性	
モビリティ	維持・向上 既存サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員不足によりお客様の要望に対応しきれない。</li> <li>自動運転車の導入は検討しているものの技術的課題が多い。</li> <li>日中時間帯の自家用車利用者向けサービスを展開し利用者を拡大したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動運転車の導入</li> <li>MaaSを活用したオフピーク利用者の拡大（百貨店利用者へのバスチケット発行等）*</li> </ul>	モビリティ 生活支援 物流効率 担い手不足解消 物流サービス高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者は移動販売車までの移動が困難でありラストワンマイルの整備が必要である。</li> <li>坂や階段が多く、横移動も整備されておらず高齢者の外出機会を低減する環境である。</li> <li>階段のエスカレーター化等、歩道環境の整備が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動運転車を活用した買い物サービスの提供</li> <li>小型モビリティ導入によるラストワンマイルの提供</li> <li><b>階段や段差での歩行を支援するツールの導入</b></li> </ul>
	ラストワンマイル提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>デマンド交通の提供において需要と供給がアンバランスであり、利用者拡大に向けた広報が必要である。</li> <li>地域の構造として坂や階段が多くバスによるきめ細やかなサービス提供が困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MaaS活用によるラストワンマイルの情報提供*</li> <li><b>段差や階段の上下移動をサポートする仕組み構築</b></li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>南大沢も多摩ニュータウン同様の課題を抱えているため同様のサービスを展開できるとよい。</li> <li>八王子市・多摩市がIoT電球を活用した見守りサービスの導入を検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>—</li> </ul>
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>MaaSを活用したシームレスな輸送サービスを提供したい。</li> <li>交通事業者と連携しターミナル乗り換えの快適性向上等を実現したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MaaSを活用したシームレスな輸送サービス提供*</li> <li>デジタルサイネージ活用による乗り換え情報配信</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業同士で事業を拡大していくことは難しく行政の介入が求められる（一括配送業務の担い手の選定等）。</li> <li>共同配送におけるクール配送、代引配送の取扱いは不可である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>—</li> </ul>
	低炭素化	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の脱炭素化社会の実現に向けて行政と取り組む必要性を感じている。</li> <li>初期コストが高く事業者単独での導入は難しい。</li> <li>走行距離や充電ポート等の整備に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>—</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>客貨混載車は課題があり実装に至らなかったが、地域のバス会社と調整ができれば実現したい。</li> <li>藤沢市で自動運転車による荷物配送サービスを実施しているが、現状は乗務員が乗車している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>客化混載車による荷物配送</li> <li>自動運転車を活用した荷物配送</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の脱炭素化社会の実現に向けて行政と取り組む必要性を感じている。</li> <li>初期コストが高く事業者単独での導入は難しい。</li> <li>走行距離や充電ポート等の整備に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>—</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>団地において安全性の観点からベランダへのドローンによる荷物投函は難しい。</li> <li>団地屋上もしくは公園等の公共施設を有効活用したドローン配送拠点が整備できるとよい。</li> <li>都市OSを活用し、宅配スーパーや宅配クリーニングと連携した共同配送を実現したい。</li> <li>南大沢を医療特区に指定いただき、処方薬の配送を実現したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設を配送拠点とするドローン配送</li> <li>都市OS活用による全宅配荷物の一括配送を可能とする仕組み構築</li> <li><b>遠隔診療から処方薬配送までワンストップ化する仕組み構築</b></li> </ul>	

※上記は、インタビュー当時の内容であり、2022年1月より他エリアにおいて、ショッピングモールや飲食店と連携した外出需要の創出やオフピーク利用等を目的としたMaaSによるサービス提供を開始し、課題の解決に取り組んでいる。



## ② 賑わい・情報

## 商工団体

		課題・ニーズ	先進技術による解決の方向性
モビリティ		<ul style="list-style-type: none"> <li>八王子駅と南大沢駅間の交通アクセスを改善し、地域間の行き来を活発にしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市モノレールの整備（自動運転を含む）</li> </ul>
	商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工会議所の取組について、南大沢の企業にもPRし、会員を増やしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な媒体を通じた南大沢の地元企業への情報発信（デジタルサイネージ、SNS等）</li> </ul>
まちの賑わい	商業・事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>都立大学生や住民向けの店舗展開の余地がある。</li> <li>空き店舗を有効活用できていない。</li> <li>買い物代行サービス実施時は地元企業を活用してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>XR・アバター活用による遠隔ショッピング</li> <li>デジタルサイネージを活用した街の魅力発信</li> <li>空き店舗を活用したサービス提供（無人カフェ、コミュニティスペース等）</li> </ul>
	地域（観光等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市全体への行き来を促進する取組として聖地巡礼等を実施したい。</li> <li>高齢者も活用可能なデジタル施策が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルスタンプラリーを活用した地域情報発信</li> <li>AIによる閲覧者別に最適情報を発信するデジタルサイネージの整備</li> </ul>
その他	医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合病院を誘致してほしいとの声がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>—</li> </ul>
	働き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く環境を求める声がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サテライトオフィス</li> </ul>
	防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜でも安心・安全に移動可能なサービスがあるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>WEBカメラを活用した見守りサービス</li> </ul>

## 情報サービス事業者

		課題・ニーズ	先進技術による解決の方向性
情報	MD-Signage	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活性化に向けて地域住民と観光客を繋ぐこと、また、運用上のキーマンを探すことが課題である。</li> <li>サービス普及に向けては、地域住民に対してメリットを示すことが必要と考えており、地域住民を巻き込み、機運を醸成することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルサイネージと連動した情報の多言語配信や災害時の情報提供</li> </ul>
	南大沢町会のデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルに関する知識を有する人材が不足している。</li> <li>地域住民とのコミュニケーション基盤を活用し、地元出身の若者に活動場所を提供することで、南大沢の活性化を目指している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民情報基盤アプリによる単一プラットフォーム内での住民向けの情報や店舗情報の配信</li> </ul>

## ③ 自然・エネルギー

## NPO法人

	課題・ニーズ	先進技術による解決の方向性	
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通アクセスが悪く、駐車場の設置もない公園では、駅から公園までの徒歩移動により疲労する方がいる。</li> <li>公園間の回遊性向上に向け電動シェアサイクルを導入したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電動シェアサイクルの設置</li> </ul>	
まちの賑わい	<ul style="list-style-type: none"> <li>来園者によるマナー違反が生じている。</li> <li>遠方からの来園者を増加したい。</li> <li>AR・VRを活用した公園の説明や四季の景色の配信を行いたい。</li> <li>南大沢の魅力である生き物や街の歴史の変遷を多くの人に伝えたい。</li> <li>デジタルを活用したイベントであっても人との直接対話は大切にしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>デジタルサイネージ・デジタルマップを活用した来街者の呼び込み</b></li> <li>AR・VRを活用した公園の四季体験イベント開催</li> <li>AR・VRを活用した南大沢の自然・生き物・まちの歴史の変遷学習イベント開催</li> <li>AR・VRを活用したコミュニケーション空間の提供</li> </ul>	
自然	再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐採した木材の活用先を拡大したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>木材活用方法のアイデアや活用先を募集する地域コミュニティサイトの提供（地産地消の促進）</b></li> </ul>
	高度利用の公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>長池公園自然館をシェアオフィスとして活用したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信環境を整備したシェアオフィス設置</li> </ul>

## エネルギー事業者

	課題・ニーズ	先進技術による解決の方向性
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備した洞道を有効活用したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洞道を活用したデジタルサイネージの通信ケーブル整備</li> </ul>
意識環境醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>人員不足により十分な広報が実施できていない。</li> <li>エネルギーの地産地消を促進したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルサイネージ活用による街全体の節電状況を見える化する仕組み構築</li> <li>熱供給を活用したイベント開催（足湯）</li> </ul>
	再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱供給の黒字化が先決であり、再生可能エネルギーを活用した電力供給等の事業展開は困難であるが、プラントの設備更新時に検討はしたい。導入に当たり以下の課題がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>入居するビルの地下なので太陽光発電設備を設置できない。</li> <li>導入コストが高く事業者単独での事業展開は困難である。</li> <li>電力供給先が4施設のみであるため採算性に問題がある。</li> <li>都の制度で駅周辺は地域冷暖房区域に指定されているが、顧客増の見込みがない。</li> </ul> </li> <li>東京熱供給が所有する洞道を有効活用したい。</li> </ul>

## ④ 教育・医療

## 近隣教育機関

	課題・ニーズ	先進技術による解決の方向性	
モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究成果を地域や企業へ還元したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>研究開発を行う大学・企業と研究成果の活用を望む企業のマッチングプラットフォーム構築</b></li> </ul>	
賑わいの	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン化により学生同士のコミュニケーション機会が減少している。</li> <li>オンライン化により地域と大学の接点が減少している。</li> <li>学生や地域が活用可能なコミュニケーションツールがあるとよい。</li> <li>AR・VR活用に必要な通信環境を学外にも整備し、南大沢の価値向上を図りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と学生の交流を育むコミュニケーションツールの提供</li> <li>南大沢居住者への高度な通信環境整備</li> </ul>	
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や企業の実証実験の場として広く活用してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学公連携による最先端技術を活用した実証実験の実施（自動運転、XR、遠隔診療等）</li> </ul>	
教育	留学生への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語版HPの情報量が不足している。</li> <li>学内情報に限らず留学生に必要な各種情報が集約されたサイトが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ID入力により教育情報、防災情報、市役所情報等にアクセスできる仕組み構築</li> </ul>
	教育環境高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインツールを活用してリアルな体験を提供したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインツールを活用したリアルな体験コンテンツの作成</li> </ul>

## 医療法人

	課題・ニーズ	先進技術による解決の方向性	
モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動時間短縮のため駅を經由しない横移動の手段があるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>多様な移動手段の提供</b></li> </ul>	
賑わいの	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動機能低下に伴う高齢者の転倒骨折が増加している。</li> <li>コミュニケーション減少による高齢者の認知症が進行している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活での運動促進・モチベーション向上（ポイント付与等）の仕組み構築</li> <li>オンライン・オフラインのコミュニケーション機会提供</li> </ul>	
医療	回避 三密	<ul style="list-style-type: none"> <li>待ち時間の表示を希望する声がある。</li> <li>院内の三密状態を回避したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予約情報に基づく院内混雑状況発信</li> <li>Face to Faceの対話が可能なツールを活用した遠隔診療</li> </ul>
	命延伸 健康寿命	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師による健康指導体制があるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Face to Faceの対話が可能なツールを活用した健康指導</li> </ul>
	地域連携 医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者は医療情報収集に当たり、何が正しい情報か判断できず、信頼する医師による情報提供を望んでいる。</li> <li>信頼する医師が情報発信するプラットフォームがない。</li> <li>医師が情報発信に割く時間がない。</li> <li>他院患者が救急搬送された際に他院の診療データ活用が難しい。</li> <li>外来診療が困難な方が気軽に医療機関と接点を持つことが可能な空間があるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>地域共通の医療情報発信コミュニティの提供</b></li> <li>ヘルスケア情報を一元化する地域共通プラットフォームの構築</li> <li>地域複数個所に遠隔診療可能な小型診療ボックスの設置</li> </ul>
医療環境高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用による医療環境の高度化とそれに伴う医療従事者の負担軽減が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェアラブル端末とスマートフォンを活用した診療（診療必要有無の判断、緊急時の訪問）</li> <li><b>訪問診療のリソースを最適配分する仕組み構築</b></li> </ul>	

## ⑤ 防災

## 市防災担当

		課題・ニーズ	先進技術による解決の方向性
防災	モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>来街者が多いため災害時の公共交通機関の運行状況に合わせた避難誘導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通機関運行情報と連携したリアルタイム避難誘導</li> </ul>
	まちの賑わい	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種防災協議会等の地域の運営協議会等を通じてコミュニティ形成を促進する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン・オフライン併用による防災コミュニティ形成</li> </ul>
	物資運搬	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾パンの味の変更や高齢者に適した柔らかい食べ物の提供を望む声がある。</li> <li>避難所物資の在庫管理に時間を要しており、POSシステム同様のツールが必要である。</li> <li>拠点から避難所への物資配送に民間企業のノウハウを活用したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグデータ・AI活用による配送量予測・配送計画策定を行う仕組構築</li> </ul>
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所開設業務との兼ね合いから報告業務の頻度削減が望まれる。</li> <li>混雑情報配信アプリは、避難人数計測の業務負荷、各避難所から市への情報集約～発信のタイムラグ発生が課題となり導入を断念した。</li> <li>チャットボットやデジサイ活用により情報発信の業務効率化を図りたい。</li> <li>高齢者・災害弱者が活用可能なサービス提供が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラと撮影情報を解析するAIを活用したリアルタイム混雑情報配信</li> <li>チャットボットによるリアルタイム情報配信</li> <li>デジタルサイネージによるリアルタイム情報配信</li> </ul>
	防災対策高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグデータによる帰宅困難者数や避難者行動の予測を避難所数の検討等に活用したい。</li> <li>南大沢は人流・交通状況把握にドローン活用が有効と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグデータを活用した災害時の滞留人数・人流予測</li> <li>ドローンを活用した人流・交通状況の把握</li> </ul>

## 3-4 その他

### (1) 結果

#### ① 高齢者

- 地域の高齢者施設等から寄せられた課題やニーズ（南大沢、上柚木、下柚木で活動団体）を整理した。

項目	課題	技術適用の期待
移動 駅までの行き来や移動全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;特定の交通に依存&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>徒歩、自家用車又はバス移動が多い（南大沢、上柚木、下柚木）</li> </ul> </li> <li>&lt;バス関連&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>バス本数が少ない、乏しい（上柚木、下柚木）</li> <li>路線バスにアクセスしにくい場所では、歩行困難時に外出困難の懸念（南大沢）</li> </ul> </li> <li>&lt;その他交通&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>循環バス沿線以外で他交通手段の提供（南大沢）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;徒歩補完の自動交通等&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>団地の管理組合に自動車椅子が1台（上柚木）</li> <li>ミニバスの運行、安価なタクシー、セニアカー（自動車椅子）の活用やレンタル（南大沢、全体）</li> <li>バス、タクシーの無人車両や小型車、1~2人乗り車両のレンタル車を設置（南大沢）</li> </ul> </li> <li>&lt;その他&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が気軽に利用できる送迎サービス</li> <li>駅ロータリーに送迎用駐車場</li> <li>急行バスの設定</li> </ul> </li> </ul>
買物、通院等	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;高低差&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>坂道、階段が多く買物荷物を持つのが大変（南大沢）</li> <li>荷物の持ち運びが困難となり、1人での買物、通院も困難になり閉じこもりの懸念（南大沢）</li> </ul> </li> <li>&lt;駅前環境&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>駅ロータリーのバス停が遠く、足の悪い人に不便</li> </ul> </li> <li>&lt;住居周辺&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>車がないと買物、通院に不便</li> <li>駅前まで行かないと買物できず住居周辺に買物場所が不足</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;買い物荷物等の運搬&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>自動運搬ロボットや地域店舗とタイアップして配達サービスの充実</li> <li>移動販売、配達サービス、荷物の運搬サービス</li> </ul> </li> <li>&lt;リモートショッピング&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>スーパー等で実際に陳列されている品物をリモートにて購入できる仕組み</li> </ul> </li> <li>&lt;その他&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>移動途上で休憩できるベンチ</li> <li>（利用を）ICTと電話で予約が出来るシステム</li> </ul> </li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>集える場所、屋内のオープンスペースが少ない（南大沢）</li> <li>高齢者が座るベンチが少ない（下柚木）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体が不自由になる前からの自動車椅子のテスト利用</li> <li>近隣に交流の場、人が集えるスペース</li> <li>オンラインの活用（交流や情報共有のツール）</li> <li>集会所等まちなかWi-Fi整備</li> </ul>

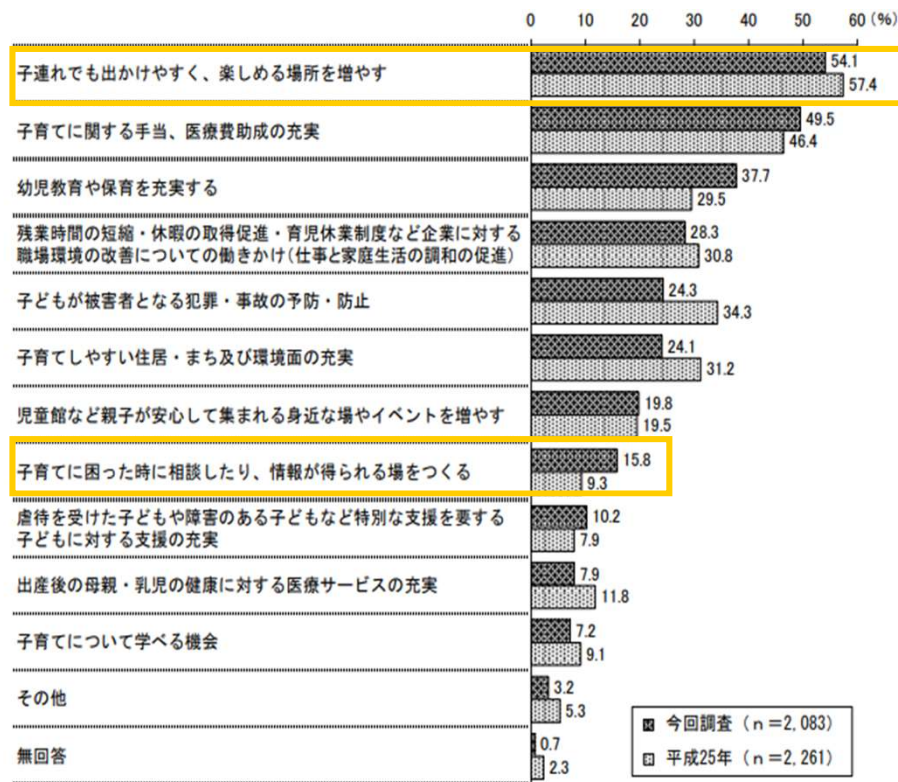


## ② コミュニティに対する要望

- 子連れでも楽しめる場の創出（54%）や、子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場をつくる（15%）等のコミュニティに関する要望がある。
- 行政が開設している子育てに関連する場の認知率は約8割と高い数値を示しているものの、利用率は5割程度と乖離がある。

### 子育て支援環境に関するアンケート結果

市の子育て支援環境充実のための施策のうち重要だと思う施策  
(経年変化)



市の子育て支援事業の利用状況  
(経年変化)

